

ねむろ 市議会 だより



NEMURO CITY COUNCIL NEWS

発行／根室市議会

根室市常盤町2の27 根室市議会事務局
TEL (0153) 23-6111 FAX (0153) 24-5820
E-mail: gikaijimukyoku@city.nemuro.hokkaido.jp

主な 内容

「一般質問」概要 ②

議会の会議日程及び質疑内容等 ③

議長・副議長就任あいさつ、
各委員会名簿 ④

根室市議会「会派構成」一覧、
根室市議会からのお知らせ、編集後記 ⑤

第38号

令和3年(2021年)
12月1日

新たな議会がスタートしました



8月22日の市議会議員選挙で当選した議員により、9月開会議会が9月17日に開催されました。開会議会では、正副議長の選出や各常任委員会委員の選任、特別委員会の設置などが上程され、審議等の結果、新しい議会構成が決定いたしました。

※上記写真中

後列左より、鈴木 一彦、須崎 和貴、壺田 重夫、永洞 均、五十嵐 寛、中村 久、富川 歩、西田 浩一、保坂いづみ
前列左より、足立 計昌、本田 俊治、工藤 勝代、田塚不二男、遠藤 輝宣、久保田 陽、橋本 竜一 (敬称略)

令和3年通年議会が開会しました

令和3年根室市議会定例会9月開会議会におきまして、通年議会の会期を決める「会期の決定」を行いました。通年議会の会期中は、年4回開催される「定例月議会」のほか、緊急の行政課題等に対応するため、議長の権限で「緊急議会」を開催することができます。また、会期が通年となりますので、各委員会が通年で開催可能となり、委員会活動の活性化が図られます。

なお、会期は令和3年9月17日から令和4年8月31日の349日間となります。



「一般質問」概要

10月定例月議会では、9人が一般質問を行いました

掲載している質疑の内容については、質問した議員自らがまとめたものであり、詳しい質疑内容は、12月中旬頃に市ホームページで確認いただけます。

一般質問

中村 久 議員

市役所庁舎内での新型コロナウイルス感染症対策について

問 市役所本庁舎内での感染や感染拡大が起きた場合に行政機能の停止を回避し、いかに被害を最小限に抑えるのか、これらを想定したマニュアル等は準備されているのか。

答 予防対策の徹底と併せ、職員に感染者が発生した場合においても、市民生活等への影響を最小限とするため、「根室市役所新型コロナウイルス感染症に係る予防・対応マニュアル」を策定し全庁的に共有している。

旧柏陵中学校跡地について

問 中学校跡地は運動公園にも隣接しており、跡地利用について市民の関心も高い。今後何らかの計画があるのか伺う。

答 【教育長】跡地利用については、今後、市民の皆様の意向を踏まえながら、当市のまちづくりの将来構想の中で、全庁的に協議し方向性を示していくものと認識している。

新総合体育館建設計画について

問 現時点における新総合体育館建設の計画について伺う。また、築60年の武徳殿について、市民や利用団体から総合体育館と別棟、または玄関別の併設を望んでいる声が要望としてあることについて見解を伺う。

答 【教育長】基本構想策定のためには、建設に向けた財源確保の見通しを立てることが必須であると捉え、建設・運営のあり方や建設場所等について市長部局と協議を重ねながら、建設に向けたスケジュールをお示しできるよう努めてまいる。武徳殿については、今後の基本構想

策定の際に、武道関係の審議会委員をはじめ、市民説明会の開催等多くの皆様の意向把握に努め、利用しやすい設備の整備を目指してまいりたい。

根室総合運動公園の整備計画について

問 現在建設中の「ふるさと遊びの広場」が完成した際に、西側園路の一部が暗くなるが、園路照明の整備計画はあるのか。

答 完成時に西側の一部が暗くなることを想定し、外壁に二基の照明を設置して解消を図る。



一般質問

橋本 竜一 議員

市立根室病院におけるPCR検査費用

問 市立根室病院では8月から「全額自己負担によるPCR検査」を実施しているが、検査料金が高額であり、引き下げが必要ではないか。

答 市立根室病院では、これまで国内外用として検査証明書を14件発行。国外用として、国が運営する海外渡航者新型コロナウイルス検査センター「テコット」にも検査証明機関として登録。検査及び証明書発行費用は他医療機関の状況からも妥当な料金設定と捉えている。

問

このPCR検査費用に対して、市として何らかの形で助成を行うことについて見解を伺う。

答

抗原検査キットを軸とした検査助成について検討する。

市立根室病院の看護体制等について

問

夜勤や当直の確保など病棟・外来ともにこれまで以上に厳しい状況にあると聞かすが、現状についての課題は何か。

答

120名体制を目標としているが、ここ5年の平均職員数は助産師、准看護師を含めて約97名。全国的に新型コロナワクチンの集団接種業務が増えており、応援ナースが少なく厳しい状況。

問

若手職員の長期定着に向けて、より働きやすい環境づくりに向けた取り組みを進めることが重要。

答

市立根室病院の看護職の離職率は定年退職を含めて毎年度10%前後で推移。20代の離職率が高く、大半が高度医療を提供する病院のある都市部へ移っている。より働きやすい環境づくりに向けて、人材確保と定着対策に取り組む。

補聴器購入への費用助成を

問

加齢性難聴などによる聴力低下に対して、早期に対応することで、生活の質を落とさず、社会参加への意欲が高まること、介護予防とりわけ認知症の進行を遅らせることにも大きな効果が期待される。65歳以上の高齢者等に、独自の補助を行う自治体が広がり、根室市でもこうした制度の導入を早期に検討するべき。

答

軽度・中等度難聴者に対する助成制度については、聴覚障害といった特定分野のみならず生活の質を確保するための支援策を、政策会議等で総合的・体系的に検討したい。

一般質問

須崎 和貴 議員

切迫！千島海溝沿い巨大地震への対策について

問

南海トラフ巨大地震では、最新の地震研究を基に「臨時情報」の発表が運用されている。千島海溝にもこれを導入する検討が始まっていることへの認識と見解を伺う。また、避難の経路が被害を受けることへの対策と、現在6千人分ある備蓄は何日の避難生活を想定しているのか伺う。

答

南海トラフ巨大地震では、異常な前兆現象に応じた警戒・注意レベルが設定されているが、千島海溝では見極めについての課題も少なくないため、国の議論を注視する。津波避難では交通障害を想定した安全確保、逃げ遅れ対策、新たな津波浸水想定を踏まえ計画の見直しを進めていく。災害備蓄は約1日分の量であるため、充実に向けた財源確保について検討を継続している。

環境問題への対応について

問

経済の活性化を考えれば、ゴミのポイ捨ては「自分たちの首を自分たちで絞めているようなもの」と思う。環境保全意識の向上が必要だ。また、ポイ捨て等防止条例に罰則を加える等対策について伺う。

答

市では全市一斉清掃などに取り組んでいるが、一部の心無い人によりゴミのポイ捨てが散見される。引き続き個人・団体等と美しく住みよいまちづくりに取り組む。罰則は道の条例等もあるため改正の予定はないが、環境に対する意識を高める取り組みを進める。

これからの学校教育について

問

本年度、中学校で完全実施された新学習指導要領への理解をどのように進めているか。またコミュニティスクールはどのように取り組んでいくのか。いじめ防止を目的に開催している子ども会議は、社会情勢に

応じて様々な角度で議論する必要があると思うが、今後のテーマについて伺う。

答

【教育長】新学習指導要領の理念と目的は、PTA総会やお便りの配布、町会の回覧等で理解促進を図っている。コミュニティスクールは「社会に開かれた教育課程」の実現のため重要であり、今年度は歯舞学園、来年度は市全体で推進する準備を進めている。子ども会議は、子どもたちがいじめ問題を主体的に考える機会をつくり、今後「多様性との調和」をテーマに進めていく。

一般質問**西田 浩一 議員****魅力ある根室の酪農業について****問**

新規就農者確保対策など「魅力ある根室の酪農業」に向けた環境整備や市独自の施策の展開が必要。農業振興施策の一層の充実について市長の見解を伺う。

答

酪農業が抱える課題を解決することで、基幹産業として更なる成長が見込まれる余地が大きい。市町村長や農協組合長で構成する「根釧酪農ビジョン推進協議会」や「根室市農畜産業活性化推進協議会」との議論を進め、酪農業の発展に向けた施策に取り組んでいく。

高齢者福祉について**問**

高齢者の生きがいづくりの拠点の一つである老人福祉センターについて、老朽化から施設の建替えの要望が利用者である高齢者から市に寄せられている。今の根室を築いてきた功労者である高齢者が希望を持って活動できるよう施設の在り方などに知恵を出し、検討を進めてもらいたい。

答

高齢者が生きがいを持って活躍できる社会参加の仕組みとしては、高齢者福祉事業団での就労や老人クラブの活動であり、老人福祉センターは、その活動拠点となるもの。老人福

祉センターの建替えについては、利用者からの要望をいただいております。現在、老朽化の状況や他の施設との集約化・複合化など将来的負担も勘案しながら、検討を進めている。

総合体育館の整備について**問**

総合体育館の整備に向け、計画的に進めていくためにも、現在総合政策部で進めているグラウンドデザイン策定の中で候補地を絞り込むべきと考えるが、教育長の見解を伺う。

答

【教育長】中標津町では建設候補地の決定に最も時間を要したと伺っている。今後、基本構想策定を見据える中で、市民の意向把握に努めるとともに、市長部局で進めているグラウンドデザイン策定事業との連携を図るなど、市民に納得いただける建設地の決定ができるよう、入念な取り組みを進めてまいりたい。

一般質問**鈴木 一彦 議員****日ロ領土問題——最近のロシア側の「北方領土」に係る"動き"について****問**

プーチン大統領は、クリル諸島すなわち千島列島全域で、主要な課税を10年間免除し、日本を含む外国企業を誘致するための「経済特区」にすると打ち出した。日本の正当な領土である千島への不当な実効支配を強めようとする措置で、日ロ領土問題の公正な解決に新たな障害を持ち込む行動と言わざるを得ない。「共同経済活動」への影響と併せて市長の見解を伺う。

答

本件に対して日本政府は、北方四島に関する我が国の立場と相容れないこと、また、四島における共同経済活動は、我が国の法的立場を害することなく実施する必要があることについて、ロシア側に申し入れを行ったと認識している。今回のロシア側の動きについては、日本からの投資を引き出すための揺さぶりであるとの分

析もあるが、引き続き今後の動向など情報収集に努めていく。また、北方四島における共同経済活動については、日本政府はロシア側との協議を継続していく意向を示しており、今後の交渉の進展に注視していく。

根室市における「※ゼロエミッション」推進——「CO₂排出ゼロ」表明は？

問

気候危機と呼ぶべき非常事態が起きている。海水温の上昇や海流の変化は異常気象の原因となるとともに、海の生態系に影響を及ぼし、漁業への打撃ともなっている。気候危機は、海の恵みを糧としてきた根室市にとっても、緊急に解決しなければならない死活的な大問題である。「2050年CO₂排出ゼロ」を表明した自治体が増えているが、根室市として表明する考えがあるかどうかお聞きする。

答

CO₂排出量の増加は、異常気象など気候変動への影響があり、地球規模の取り組みと認識している。市民・事業者も含めた根室市全体で進めるべき方向性や取り組みが求められることから、まずは、わかりやすくCO₂排出の影響や削減の効果などの市民周知を図り、環境問題に対する意識醸成に努めていきたい。

一般質問

足立 計昌 議員

新型コロナウイルスワクチン接種について

問

集団接種が終わり個別接種が始まったが、予想外に希望者が多いと聞いている。これまでの取り組みと、今後の予定はどの様になっているのか伺う。

答

4月26日の高齢者施設等での接種を皮切りに、5月から8月まで65歳以上の高齢者、64歳以下の集団接種を行ったところであり、併せて7月20日から、市立根室病院の小児科において、12歳以上の小学生を対象に接種を行ってい

る。この結果、現時点では接種対象者22,676人に対し、2回接種した方は、18,831人で、接種率は83%となったところである。現在、市内医療機関において個別接種を実施しているが、予約件数が千人を超えている状況から、接種率は90%近くになると見込んでいる。

今後については、3回目接種の準備に取り掛かるよう国から通知があったところであるが、詳細な対応方針などが確定していないことから、具体的な接種時期など、市内医師会をはじめとする関係機関と連携しながら準備してまいる。



空き家等への対策について

問

6月定例会議会において、特定空家等の解消に向け、より効果的な支援制度を検討していくとの答弁があったが、その検討において、特に身寄りのない方や生活困窮者などへ配慮した支援策の検討が必要と考えるが、見解を伺う。

答

私的財産である空き家は、所有者により適切に管理されることが大原則であり、所有者の責任や必要な処置等の啓発、空家等対策特措法に基づく「指導・助言」を行うとともに、特定空家の解消に向けた支援制度のあり方について、引き続き検討を進めていく。

生活困窮者等を考慮した支援策については、他自治体の事例を参考としつつ、空家等対策協議会において、専門的な意見も伺いながら、調査・研究してまいりたい。

一般質問

本田 俊治 議員

持続可能な行財政運営について

問

令和3年度の一般会計予算総額は208億円。予算を支える財源として約40億ものふるさと応援関連基金が充てられ、その一方で自主財源の柱である市税、地方交付税は市中経済の低迷や人口減少等により5億円の減収で編成。持続可能な行財政運営のためには、自主財源に対する今後の見通しを明らかにし、ふるさと応援寄付金の適正管理、地方債活用基準の明確化に努めるとともに、更なる行財政改革の推進が必要。

答

一般財源の大宗をなす市税、地方交付税は指摘のとおり多くは見込めずふるさと応援寄付金が貴重な自主財源である。ふるさと応援寄付金は本年度から4年間で500億円を積み立て約400億円の活用を見込んでいるが、基金管理の健全かつ持続的な発展に努める。地方債は健全な財政運営に基づく適切な発行を基本とし、将来負担の軽減に努める。

今後の財政運営にあたっては、行財政改革を加速的かつ着実に努める。

市民参加の病院運営について

問

地域医療を守り育てるためにも市立病院が提供する医療のあるべき姿について市民が共に考える取り組みが必要。病院経営も市民の理解と協力のもと取り組むべき。「新たな病院改革プラン」の策定にあたっては、計画策定段階から市民参加の仕組みをつくり、市民への見える化に努めていただきたい。

答

市立病院の役割や経営状況などについて市民の理解と協力を得ることは大切であり、情報提供の在り方など調査研究する。

北方領土返還運動原点の地としての新たな取り組みについて

問

新型コロナウイルス感染症により停滞する北方領土問題。元島民の高齢化が進み残された時間には限りがある。一日も早い問題解決のため返還運動原点の地から強いメッセージと共に新たな取り組みについて提案が必要であり、原点の地の市長として強いリーダーシップを発揮していただきたい。

答

本年度「北方領土対策に関する専門家会議」を設置し、様々な課題について調査・研究を行う。様々な分野の有識者や関係者、市民の参加をいただき、原点の地としての役割について議論を深め、その具現化に全力で取り組む。

一般質問

久保田 陽 議員

将来は高校生まで学校給食の提供を！

問

高校生を持つ保護者の経済的負担軽減策として、学校給食を高校生までの提供が可能とされるまでの間、高校生への弁当費用の負担を賄うべき。さらに、市内に高校生への専門塾がないことなど進学する際にも経済的負担が伴う。これらも含めた多様な支援を考慮すべき。

答

子育てをしやすいまちづくりを推進するなか、高校生を対象にした、資格取得支援や一人一台のパソコン貸与など高等学校と連携した取り組みも進めている。今後も引き続き市民ニーズに即した必要な施策の推進に努めるとともに、高校生への弁当費用の支給については提言と受け止めたい。

問

学校給食センターの早期建設の実施に向け建設方法などを考慮し、現行では1,800食余りを提供しているが、この先の児童生徒数の減少予測に立ち、高校生までの学校給食の提供を拡充すべきと考える。

答

【教育長】共同調理場は、築55年が経過し新たな設備増設も困難なことから、基本的な焼く、蒸すなどのオープン機器も設置できず、献立に制限があり、豊かで美味しい給食の実現のためにもセンター化の早期実現が必要と考えている。また、高校生への給食の提供については建設後の施設の有効活用も含め調査・研究してまいりたい。

ふるさと納税の活用事業を身近にわかりやすく！

問

昨年12月の質問において、ふるさと納税活用集の全戸配布の必要性を求めたが、その後検討するとの答弁だったが、検討結果について伺いたい。

答

印刷、製本、郵送コストに加え人員増や作業月数を要することから費用対効果や市民ニーズを踏まえ検討した結果、現状の手法であるホームページの掲載や広報誌の活用、図書館に配布し今後は必要な市民へ窓口で渡したい。

意見

ふるさと納税がどれだけ私達のまちづくりに貢献しているのか、その活用内容を知ることは市民に重要。町会に数十部配布するなど検討すべき。

一般質問

五十嵐 寛 議員

介護職員の待遇改善について

問

介護職員の待遇改善に関するその後の取り組みの経過について伺う。

答

介護事業者が主体となって人材確保や定着、育成に向けた取り組みを進めることを目的に、市内の介護事業者11団体で構成する介護サービス事業者対策協議会を本年7月15日に設立。介護職の奨励金制度の創設に向けて市内全ての介護従事者の勤務年数の把握等を進め、奨励金の支給対象となる節目や支給金額について検討、現在事業者と協力しながら取りまとめ作業を行っ

ている。現在、介護事業所等に従事する方は520名でその内20年以上は20名、30年以上は5名となっている。今後は介護事業者と十分な意見交換を重ね、人材の定着とモチベーションの維持に繋がる実効性のある制度となるよう市としても助言や財政的支援等の役割を果たしていく。人数が把握され次第、制度を固め早急に支出したい。

根室市パークゴルフ場（宝林）のクラブハウスの改築等について

問

クラブハウスは管理棟ではなく休息とコミュニティハウスの要素を兼ねていると考える。管理棟の建設年、利用状況、今後のクラブハウスの整備計画について伺う。

答

【教育長】現在の管理棟は平成5年に建設し、今年で28年が経過しており、利用者数はコロナ禍で減少もあるが、令和2年度は18,931人でそのうち65歳以上利用者は約73%で年々増加傾向にある。今後議員ご指摘のコミュニティハウスと一体型のクラブハウスなど、他自治体の事例なども参考に市長部局とも協議しながら検討を続けてまいりたい。



高齢者用施設について

問

高齢者利用施設の現況と今後の整備方針等の取り組みや考え方について伺う。

答

令和2年度利用状況では、2ヵ所の老人福祉センターで入浴が延べ8,743人、生きがい講座、サークル活動その他で延べ14,250人が利用している状況。老朽化の状況や他施設との集約化・複合化等将来的な財政負担も勘案しながら検討を進めている。

議会の会議日程及び質疑内容等

7月緊急議会 令和3年7月14日(水)《1日間》

○議題

議案	単行議案	損害賠償の額を定めることについて／車両事故	【全会一致で可決】
	予算関係	令和３年度根室市一般会計補正予算（第３号）	
		令和３年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第２号）	
報　告		専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて／支払遅延）	

8月緊急議会 令和3年8月11日(水)《1日間》

○議題

議案	単行議案	根室市過疎地域持続的発展市町村計画の策定について	【全会一致で可決】
		財産の無償譲渡について	
		啓雲中学校校舎等改修工事（建築主体）請負契約の締結について	
		旧柏陵中学校校舎等解体工事請負契約の締結について	
	予算関係	令和3年度根室市一般会計補正予算（第4号）	

8月閉会議会 令和3年8月31日(火)《1日間》

○議題

議案	予算関係	令和３年度根室市水道事業会計補正予算（第１号）	【全会一致で可決】
		令和３年度根室市下水道事業会計補正予算（第１号）	
報 告		専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて／車両損傷）	
		専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて／車両事故）	

9月開会議会 令和3年9月17日(金)《1日間》

○議題

選挙		根室市議会議長の選挙について	【当選（投票）】
		根室市議会副議長の選挙について	【当選（指名推選）】
選任	人 事	根室市議会常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任について	【全会一致で選任】
		根室市議会常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長の選任について	
		根室市議会常任委員会副委員長及び議会運営委員会副委員長の選任について	
議案	人 事	根室市監査委員の選任について	【全会一致で同意】
	単行議案	根室市議会北方領土・水産対策特別委員会の設置について	【全会一致で可決】

10月定例月議会 令和 3 年10月 5 日(火)～10月25日(月) 《21日間》

■10月定例月議会において全会一致で選任・同意、可決、認定された議案・意見書

議 件 名 ・ 意 見 書			
議案	人 事	根室市教育委員会教育長の任命について	根室市教育委員会委員の任命について
		根室市固定資産評価審査委員会委員の選任について	根室市公平委員会委員の選任について
		根室市職員懲戒審査委員会委員の選任について	
	条 例	根室市有林野基金条例の一部を改正する条例	根室市都市公園条例の一部を改正する条例
		根室市手数料条例の一部を改正する条例	
		根室市過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例	
		根室市立学校条例及び根室市放課後教室設置条例の一部を改正する条例	
	予算関係	令和 3 年度根室市一般会計補正予算（第 5 号）	令和 3 年度根室市病院事業会計補正予算（第 1 号）
	決算関係	令和 2 年度根室市港湾整備事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	
		令和 2 年度根室市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	
認定	決算関係	令和 2 年度根室市一般会計歳入歳出決算の認定について	
		令和 2 年度根室市市民交通傷害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
		令和 2 年度根室市流通加工センター汚水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
		令和 2 年度根室市農業用水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
		令和 2 年度根室市介護保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について	
		令和 2 年度根室市下水道事業会計の決算認定について	
		令和 2 年度根室市病院事業会計の決算認定について	
意見書案		国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	
		加齢性難聴への補聴器購入のための国の助成を求める意見書	

■10月定例月議会において賛成多数で可決された議案、意見書等

〔○：賛成、×：反対、－：欠席(退席)〕

議 件 名 ・ 意 見 書			創新	市政	大地	共産	会派袖	市民	西田	保坂
認定	決算関係	令和 2 年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○
		令和 2 年度根室市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○
意見書案	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書		○	○	○	×	○	○	○	×
	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書		×	○	×	○	○	○	×	—

■10月定例月議会において報告された議件

議 件 名		
報告	決算関係	令和 2 年度根室市各会計決算に関する報告について
		令和 2 年度根室市特定目的基金運用状況に関する報告について
		令和 2 年度根室市健全化判断比率について
		令和 2 年度根室市各公営企業会計資金不足比率について
	そ の 他	根室市国民保護計画の変更の報告について
		株式会社根室市観光開発公社の経営状況報告について
		教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告について

○主な意見・質疑の内容

●総務経済常任委員会（審査件数：4件）

- 「根室市有林野基金条例の一部を改正する条例」
 - ・山林の売払金額及び売却された立木の種類について
- 「根室市都市公園条例の一部を改正する条例」
 - ・本条例案における民主主義の観点からの問題点について
- 「根室市手数料条例の一部を改正する条例」
 - ・改正後の再交付手続きと手数料等について
- 「根室市過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例」
 - ・設備投資に伴う市中経済への波及効果と税収減への見解について

●文教厚生常任委員会（審査件数：1件）

- 「根室市立学校条例及び根室市放課後教室設置条例の一部を改正する条例」
 - ・花咲小学校移転後の旧校舎の措置及び跡地利用の見通しについて

◆予算審査特別委員会

- 「令和3年度根室市一般会計補正予算(第5号)」
 - ・感染症拡大防止対策における今後の取り組みの考え方について
 - ・赤潮によるヒトデ等への影響について
 - ・教職員住宅の充足状況と今後の整備に対する考え方について
- 「令和3年度根室市病院事業会計補正予算(第1号)」
 - ・感染症廃棄物処理委託費増額の積算根拠と委託業者について
 - ・医療機械器具の整備内容と導入効果について

◆一般会計決算審査特別委員会

○令和2年度根室市一般会計歳入歳出決算の認定について

- 【総務費】・人づくり・まちづくり事業補助金の効果と継続申請への対応等について
 - ・防災に対する住民意識への課題認識等について
- 【民生費】・除雪サービス業務委託料の内容と実績及び課題等について
 - ・ひとり親家庭等医療費助成における独自拡大内容と今後について
- 【衛生費】・産後ケア事業補助金の目的と実績及び切れ目のない対応について
 - ・補助制度開始後の合併処理浄化槽設置件数と今後のニーズ把握について
- 【労働費】・根室市雇用対策協議会の開催頻度と人材確保事業の実施状況等について
 - ・北海道のマッチングサイトへの市内登録事業者数と制度周知について
- 【農林水産業費】・農業の担い手確保対策の取り組みについて
 - ・磯焼けや赤潮などによる水産資源への影響等について
- 【商工費】・新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業の決算内訳等について
 - ・今後の観光産業回復に向けた展望等について
- 【土木費】・大雨による冠水箇所等の把握と排水施設の維持管理について
 - ・(仮称)ふるさと遊びの広場整備工事における当初からの変更内容と市内業者への波及効果について
- 【消防費】・コロナ禍での救急搬送等における感染防止対策について
 - ・消防団員の報酬等の内容と団員の充足状況について
- 【教育費】・学力向上プロジェクトにおけるこれまでの取り組みと評価について
 - ・総合文化会館の備品購入費の内容と備品更新における考え方について
- 【公債費等】・公債費の償還財源及び財政調整基金等の適正な規模等について
- 【歳入】・個人市民税の収入率の推移と収入率改善の要因について

◆各事業・特別会計決算審査特別委員会

- 令和2年度根室市港湾整備事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
 - ・漁獲物陸揚使用料が減額となった主な要因について
 - ・収益事業の現状に対する検証と今後の考え等について
- 令和2年度根室市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
 - ・今後の水道料金改定に対する考え方と検討の必要性について
 - ・建設改良費の今後の試算と施設、管路等の整備等について
- 令和2年度根室市市民交通傷害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - ・交通共済加入率向上に向けた取り組みと会費改定の検討について
 - ・高齢者運転免許証返納事業の拡充の検討について
- 令和2年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について
 - ・北海道の保険税率統一化への動きに対する認識と対応等について
 - ・被保険者の高齢化に伴う医療費増と保険税の負担に対する認識と負担軽減に対する考え等について
- 令和2年度根室市流通加工センター污水处理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - ・污水处理施設の今後の整備方針について
- 令和2年度根室市介護保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について
 - ・家族介護者に対する支援の拡充について
 - ・地域包括ケアシステムの今後の進め方、考え等について
- 令和2年度根室市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
 - ・保険料軽減割合の変更により影響を受けた被保険者数について
- 令和2年度根室市下水道事業会計の決算認定について
 - ・水洗化率向上のための取り組みについて
 - ・計画的な工事設計の現状把握について
- 令和2年度根室市病院事業会計の決算認定について
 - ・コロナ禍による医業収益への影響と国の補助金等による効果について
 - ・高額な医療機器の更新、整備に対する考え方等について

議長・副議長就任あいさつ



議長

田 塚 不二男

この度、9月開会議会において、議長選挙により平成25年から4年間議長を務めて以来4年ぶりに再度就任いたしました。

一昨年から世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民生活や社会経済活動が著しく制約されてきました。

このような中において、根室市議会は行政と連携してより良い市政の推進を図るとともに、開かれた議論の場として市民の福祉向上に取り組んでまいりました。

今後におきましても当市の基幹産業であります水産業の振興をはじめ、医療、福祉、教育、北方領土等、様々な課題に取り組んでまいりますので、議員各位共々皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



副議長

工 藤 勝 代

この度、第21代根室市議会副議長に就任いたしました。が、光栄でありますと共に重責を痛感しております。

根室市議会が身近に感じていただける開かれた議会であるよう、根室市に暮らす皆様と同じ視点を持ちながら、活発な議会活動並びに議会改革に取り組んでまいります。

現在、根室市は漁業不振による市中経済の停滞をはじめ、少子高齢化、人口減少、気候変動など山積する課題の中にあります。これらに対応するべく市民の皆様の声に耳を傾け、議長をお支えしながら役割を果たしてまいりたいと存じますので、市民皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新たな市議会が始動しました

任期満了に伴う市議会議員選挙が8月22日に行われ、16名の議員が決まりました。

議員改選後、初議会となる9月開会議会が去る9月17日に開会され、正副議長をはじめ、新しい議会構成が決定しました。

正副議長の選出には選挙が行われ、議長には田塚不二男議員、副議長には工藤勝代議員が当選しました。

また、各常任委員会委員、議会運営委員会委員、特別委員会委員及び広報委員会委員については、次のとおり決定しました。

(◎委員長 ○副委員長)

【総務経済常任委員会】

総合政策部、総務部、北方領土対策部、水産経済部、建設水道部、会計課、消防本部、監査委員、選挙管理委員会、農業委員会及び公平委員会の所管に関する事項、並びに他の委員会の所管に属しない事項を審査します。

◎久保田 陽、○鈴木 一彦、永洞 均、五十嵐 寛、工藤 勝代、富川 歩、壺田 重夫、保坂いづみ

【文教厚生常任委員会】

市民福祉部、市立根室病院、教育委員会の所管に属する事項を審査します。

◎橋本 竜一、○中村 久、足立 計昌、遠藤 輝宣、須崎 和貴、本田 俊治、西田 浩一、田塚不二男

【議会運営委員会】

議会運営、議会の会議規則及び委員会条例等に関する事項、並びに議長の諮問に関する事項の調査を行います。

◎遠藤 輝宣、○永洞 均、中村 久、富川 歩、鈴木 一彦、久保田 陽、本田 俊治

【北方領土・水産対策特別委員会】

北方領土問題とこれらに起因する水産の諸問題等について、適切な対策を講ずることを目的に設置しています。

◎本田 俊治、○足立 計昌、永洞 均、工藤 勝代、遠藤 輝宣、鈴木 一彦、須崎 和貴、西田 浩一

【広報委員会】

「ねむろ市議会だより」の編集及び発行、インターネットを活用した議会のホームページ等の広報、並びに議会報告会の運営のほか、議会広報活動に関することを所管しています。

◎足立 計昌、○富川 歩、中村 久、橋本 竜一、須崎 和貴、本田 俊治、西田 浩一（敬称略）

根室市議会「会派構成」一覧

※令和3年11月1日現在の根室市議会の会派構成は次のとおりです。

創 新	市政クラブ	大 地	日本共産党根室市議会議員団
会 長 足立 計昌	代 表 工藤 勝代	会 長 遠藤 輝宣	団 長 鈴木 一彦
幹事長 五十嵐 寛	幹事長 中村 久	幹事長 富川 歩	幹事長 橋本 竜一
永洞 均			

会派 紬	市民クラブ	無 所 属
代 表 久保田 陽	代 表 本田 俊治	議 長 田塚不二男
須崎 和貴	壺田 重夫	西田 浩一
		保坂いづみ

根室市議会からのお知らせ

●今後の議会開催(予定)

▶12月定例会議会：12月14日～

※日程等の詳細は、議会運営委員会において決定後、市のホームページでお知らせいたします。

●本会議・委員会の傍聴について

＝ 根室市議会は市役所3階です ＝

議会の本会議や各委員会は傍聴することができますので、ぜひお気軽にお越しください。

なお、傍聴の際には、新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクを着用いただきますようお願いいたします。

●市議会ホームページとフェイスブックページのご案内

根室市議会は「市民に開かれた議会」を目指す議会改革の取り組みとして、市議会ホームページ、フェイスブックページを開設し、市議会のさまざまな活動などを積極的に発信してまいりますので、ぜひご覧ください。



■ホームページ



■フェイスブックページ

■市議会ホームページ

根室市議会

検索

■フェイスブックページ <https://www.facebook.com/nemuro.shigikai>

編 集 後 記

本委員会は、議員改選により10月から新たな委員7名が選任され、本誌の発刊が新体制で最初の委員会活動となりました。

本誌の内容につきましては、10月定例会議会関係のほか、正副議長就任あいさつ、各常任委員会、特別委員会等委員名簿、会派構成一覧を掲載するなど、新しい議会体制を紹介しています。

「市議会だより」のほか、本委員会では議会

報告会、ホームページ、フェイスブックなど、多様な媒体を活用しながら議会情報の発信を行っていますので、そちらもご覧いただければと思います。

これからも様々な議会情報をお知らせし、市民の皆様にはわかりやすく、関心を持っていただける広報活動に委員一同で努めてまいりますので、ご意見やご質問等がありましたら、ご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

広報委員会委員長 足立 計昌